



麻生総理、施政方針演説で表明

目指すべきは「安心と活力ある社会」

1月28日、麻生総理は第171回国会の衆議院、参議院の本会議にて、施政方針演説を行いました。施政方針の柱立ては「活力」「安心」「世界への貢献」。麻生総理は、世界が新しい時代に入ろうとしている今、日本が果たすべきは『新しい秩序創りへの貢献』です。同時に、日本自身もまた、時代の変化を乗り越えなければなりません。目指すべきは『安心と活力ある社会』ですと述べました。

景気の悪化に対し、「異常な経済には異例な対応が必要」と



衆議院本会議での施政方針演説。

強調し、続いて社会保障制度への信頼が不可欠なこと、平和と安定の構築に尽くすことなどを表明。結びには「日本の底力は、

必ずやこの難局を乗り越えます。そして、明るくて強い日本を取り戻します」と述べました。

社会福祉法人日本介助犬協会会長らによる表敬

2月13日、麻生総理は総理大臣官邸で、社会福祉法人日本介助犬協会の橋本久美子会長らによる表敬を受け、日本介助犬協会が愛知県長久手町熊張に建設中の介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」について、説明を受けました。

このセンターは、介助犬と訓練士を育成する全国初の専門訓練施設で、平成21年春にオープンする

予定。「シンシア」とは、日本介助犬使用者の会の会長・木村佳友さんとともに、介助犬の普及活動や、平成14年に成立した身体障害者補助犬法の成立にも頑張った介助犬です。残念ながら、平成18年3月14日に息を引き取りましたが、このたび、同センタ

一の愛称として「シンシア」の名が残ることになりました。



麻生総理を表敬した、日本介助犬協会会長と介助犬使用者。